

内 容

* ヴィレッジセミナー2013年 研修報告(3)

3. 就労

添付資料 アセスメント用紙

* ヴィレッジセミナー2013年 研修報告(3)

3. 就労

ボブ先生

(Joe) ボブさんに就労と就労が果たす役割について話していただきます。

就労というのはメンバーにとって重要な問題です。ヴィレッジではメンバーが何かしたいと言った時は、それに対してアセスメント(客観的評価・判断)すると言いましたが、メンバーが希望することに対してメンバーを中心に考えていきます。

それではボブさん宜しくお願いします。

(ボブ) 私の仕事は、物事を実現させることです。

皆さんの中に利用者さんの就労をサポートしている方はいますか？

どの様な立場でサポートされていますか？

(参加者) 事業所内での訓練を通して利用者さんの地位向上を図るとともに、ハローワークや企業に出向いて、利用者さんを就労に結び付けられるような活動をしています。

(ボブ) 我々がここでやっているサポートと同じ内容ですね。



就労はヴィレッジに来ている皆に可能性が有ることです。そして我々が進めている就労とは、正に本当の仕事なのです。

ヴィレッジ利用者の誰かが手を挙げて「私は仕事に就く準備が出来ています」と言えば、その人の就労を考え始めます。コミュニティでの仕事やヴィレッジ内での仕事も提供しています。それらの仕事には色々なオプションが有りますので、殆どの方に対応できる可能性があります。人によっては1日フルに働きたい人もいますし、毎日仕事終わりに日当をもらいたい人もいます。そして事務的な部分についてはヴィレッジがサポートする事が出来ます。そして私たちが目指しているのは、1日だけでなく2日、3日と仕事を継続していけるようにすることです。

就労を経験した人で、「1日働くとこれだけお金がもらえるなら1か月働くと一杯もらえるね」と言った人もいました。そしてそれを聞いたとき「ヤッター」と思いました。

ヴィレッジはビジネスも行っており、それに個人が参加することもできます。その他にレストラン「Deli」の仕事や清掃や事務の仕事もありますので、これらの仕事の中から選ぶこともできます。

ヴィレッジの中で働く特典は、仕事を行うことで評価してもらえることです。しかし誰もがヴィレッジで働けるわけではなく、ヴィレッジで働くためには面接を受けなくてはなりません。でもこれはコミュニティや他の企業で働くときも必要となることです。そしてヴィレッジで雇われた場合は、お給料をもらう事が出来ます。お給料はカリフォルニアの最低賃金である時給 \$ 8 です。仕事に対しては 1 か月毎に「上手に仕事をこなしたか」「どの様な点を改善したら良いのか」などの評価をします。ヴィレッジの仕事を通して期待されることは、コミュニティでも期待されることですので、とても役に立つ重要な事です。

1 人の人がヴィレッジで働く場合、2 か月から 8 か月位の期間になります。その後は「就労開発」の部門に担当して頂き、その人に合った仕事は何かを利用者と共に考えていきます。

ヴィレッジの就労は 1 週間に 10 時間から 25 時間くらいになりますが、コミュニティに出たときも同じくらいの就労が可能となります。ヴィレッジで働くメリットの 1 つには、仕事を通して他の人と交わる機会が有ることです。定期的に働くことで同じ人と交わる事が出来ますので、話し合う機会を持つ事が出来ます。そしてヴィレッジでは働く技能を教えますが、その時失敗しても大丈夫です。その結果自分の中で働く事が出来るというアイデンティティが生まれてきます。ヴィレッジ就労が終わった後殆どの方はコミュニティに出ています。コミュニティで自分がどの様に感じるかということを経験した事がある方が、コミュニティで自分がどの様に感じるかということを経験した事がある方が、仕事を実感して頂く事が出来ます。また以前は普通に働いていた方が、病気や薬物乱用などで 10 年、20 年働いていなかった方がヴィレッジで就労するということは、その様な方にとって仕事に戻るといことがどの様な事なのかということを実感できます。朝仕事に来て、ボスから「あれやれ」「これやれ」と指示を受け、自分が好きでもない人と一緒に仕事をする。この様な事は実際にあることですので、慣れていかななくては行けない事なのです。

私たちが色々なメニューを作ることによって、多くの環境に馴染んでいただくことができれば良いと思っています。

ヴィレッジの中でどの様な立場にいる人でも、支援の中で就労という考え方は必ず出てきます。以前チームで働いていた時、医師とチームとの間で情報の共有が有りました。医師の担当するメンバーが就労に興味があるという事が分かった時、直ぐに他のチームメンバーに、「このメンバーが就労に興味を持っている」ということを伝えます。この様にメンバーにとって色々な機会が周りにあるということと、そこで情報が共有されているという事が分かります。そして共有されると 1 分もしないうちに、そのメンバーと就労についての話し合いを持つ事が出来ます。

私はここでもう 16 年働いていますが、本当に一番難しいのはその人が就労する準備が出来ているか否かを判断することです。以前はある程度機能に準備が出来ていなければ、就労は無理だと思っていました。しかしそれは間違いで、就労において誰が成功するか、失敗するかは全く予想がつかないものでした。私のところに女性のメンバーさんが「私もう働けます」と言ってきました。しかし担当のケースマネージャーは、「彼女は 30 分以上働けないだろう」と言ってきました。しかし私にとって一番重要なことは、本人が「仕事が出来ます」と言ったことなのです。それでヴィレッジでの仕事を提供しました。しかし問題だったのは、ヴィレッジまで 2 ブロックのところに住んでいるのに徒歩通勤が困難だった事でした。それで同じアパートに住んでいたメンバーに彼女をヴィレッジに連れてくることを頼みました。少したって彼女に会ったので、「ヴィレッジからどの様に帰っているの」と聞いてみると、彼女は「歩いて帰っています」と答えました。自分 1 人で歩いて帰っていました。私は「1 人で帰れるのに、なぜ来るときは 1 人で来られないの」と聞くと、「多分 1 人で来られますね」と言いました。そして次の日から 1 人で通勤できるようになり 30 分働いていました。それから勤務時間が段々長くなり、1 時間 2 時間と普通に仕事が出来るようになりましたが、3 時間働けるようになったとき変な事が起こりました。彼女が仕事に来なくなったのです。私たちはコミュニティで働けるようにするため皆を導いていますが、この様な事も起きます。彼女が 3 時間働けるようになるまで、周りでは色々なサポートと努力を続けてきましたし、皆が成功することを願っていました。しかし彼女はその後仕事に来ないので解雇されてしまいました。そこで私は論理的なアイデアでは無いのですが、担当者には「勤務

時間を 3 時間より長くして雇用してみたらどうだろう」と提案しました。すると何故か午前中いっぱい働けるようになったのです。私はいまだにこれを説明することは出来ませんが、事実です。その後彼女は 6 時間以上も働けるようになりましたので、ジョブデベロッパーの方に回してコミュニティでの就労を進めました。その結果、彼女はコミュニティでフルタイム勤務が出来るようになりました。この様に彼女の場合は勤務時間を長くすることで解決したわけですが、現在でも私には理由が分かりません。仕事を見つけるのはデートと同じようなものだと思っています。成功する時もありますが、殆どの場合は失敗するからです。

ヴィレッジには医師や PSC (パーソナル・サービス・コーディネータ)、ディレクターなど多くの職種の人がいますが、就労に関しては全ての人に関与しています。PSC の人がメンバーに対して仕事をどの様に思っているのかを聞きます。しかし PSC は就労だけでなく治療期間についても考えなくてはいけません。PSC はメンバーが希望しないようなことはさせないようにして、希望することを進めていきますが、その判断はとても微妙です。

私は 1 人のメンバーさんが就労にとっても向いていると思いましたが、本人は全く考えていませんでした。本人が無関心の場合、私がいくら考えても無駄になります。それで私は 1 年、2 年と本人が就労に関心を持つまで待ったことが有ります。この様に雇用を実現するためには、待つということも重要なことになります。ヴィレッジでは就労に貢献できそうなスタッフを雇用しています。そしてコミュニティでの就労を可能にしたスタッフには、現金の報奨を出すようなシステムも有ります。

就労が実現すると、成果としてお金を得る事が出来ます。するとお金が出来たら家を借りられるとか、旅行に行けるとかテレビが買える等ということを具体的に話し合います。お金だけではなく自分が今いる環境から脱出して、他の人がどの様な事をしているのかということを見る機会にもなります。

私たちは本人がどの様な事に興味を持っているか、本人の特徴・強みは何かについて話し合う様になっています。今まで仕事をしたことが無いような人でも、働けないということは絶対にありません。今まで働いたことが全くない人に対しては、その人が今最も楽しいと思っていることは何なのか、というところから話し合いを始めます。1 人話好きの人がいて朝から夜まで話し続けている人がいました。それでその人に対しては、話すということがアドバンテージになるような仕事が見つかったら良いと思っていました。見つけたのはスーパーマーケットでお料理のデモンストレーションをする仕事で、彼はスーパーマーケットで朝から晩まで話し続けていました。これは彼の好きなことを仕事にできた例ですし、彼自身も幸せを感じています。

ずっと昔、ここで働き始めて 1 年目くらいの事ですが、「メンタルヘルスのプロとして他の人をどの様に援助できるか」ということについて、私は何も知りませんでした。それから経験を積んで私が分かったことは、「人々は、自分は仕事が出来るということを周りに信じてもらうことを求めている」ということでした。その人がいる家庭や施設で、「貴方は、これは出来ない」「これをやってはダメ」など何時も言われてきたわけで、本人も自分は出来ないのだと信じ込んでいたわけです。

私は親という立場でも同じ事を感じています。私の息子も 2 度ヴィレッジにお世話になりましたが、「それはダメ」「やっちはいけない」ということを何度も言っていました。息子は「私を 1 人にしておいてくれ」「私の勝手にさせてくれ」と良く言われました。これは私の経験です。

話し合いで「貴方は働く事が出来ますよ」と伝えて、「自分は働くことが出来るのだ」ということを信じ始めることが、とても重要な就労へのキッカケになります。以前私は息子に「何故仕事がしたいの？」と聞いたところ、息子は「私も皆と一緒にになりたいから」と言いました。

仕事を得た場合、個人が仕事に定着出来るようにする援助はどの様な事があるのか、ということを考えてみたいと思います。

ヴィレッジでは、初めて仕事を始める方の最初の出勤日は自信がありませんしトラウマになるかもしれません。ですから一緒に行ってあげます。ヴィレッジでは相手との関係を保つということに重点を置いていきますので、この様な対応をします。関係が良ければ良いほど、もしも上手くいかなかった場合でも信頼関係が有りますから対処方法が見つかります。関係性の良し悪しで対処出来るか否かが決まります。そして上

手くいかなかった場合、私たちは上手くいかなかった理由を他の利用者と共有することを勧めます。上手くいかなかった理由を他のピアから聞くことはとても効果が有ります。もしも誰かに仕事が見つかった場合、とても特別の事としてその人を映画に連れて行ったりしてお祝いをします。

利用者の男性に仕事が見つかり、ウォールマートで働くことになりました。でも彼はヴィレッジでは有名人で、「彼は長続きしないよね」と皆に言われていました。彼は 2 週間くらい真面目に行きましたが、そこで行かなくなりました。彼は身長が 2m 近くもあり体重も 150kg くらいの大男で、とても食べることが好きでした。それで私は、「貴方が 30 日間勤務出来たらランチに連れて行ってあげる」「そして 60 日間出来たら貴方と友達を夕食に連れて行ってあげる」と言いました。

ヴィレッジでは毎週水曜日にコミュニティミーティングが有ります。そしてそこで前の週に行ったことを皆が発表するようになっていますが、そのミーティングで、「彼が 90 日間仕事を続けられたら、私は彼にキスするかもしれない」と言いました。実は「その様なことは絶対起きないだろう」と思っていました。前にも言いましたように、誰が失敗するか成功するかは予想が付きません。彼は 30 日間働いたのでランチに連れていきました。そして 60 日間働いたので友達を連れて夕食に連れていきました。その時点で私はキスをしなくてはいけなくなるとドキドキしていましたが、彼はとても興奮してきていました。そして 75 日から 80 日になるころ彼はヴィレッジに度々来て「次のコミュニティミーティングには皆来いよ」「ボブが僕にキスをするから」と声をかけていました。ついに彼は 90 日働き続けました。それで次の水曜日のミーティングで僕は椅子の上に立って彼の頬に彼が一生忘れないようなキスをしてあげました。すると彼は「120 日間続けたら次は何？」と言いました。それで僕は「もう忘れてくれ」と言いました。

結局正しい動機付けが有れば、目標は達成出来るということなのです。彼はヴィレッジの仕事では 2 週間すら働くこともできなかったのですが、コミュニティではそれだけ長い時間仕事をする事が出来たということです。動機付けによって人は何が出来るようになるか予測が付きません。

その後彼はどの様になったでしょう。ウォールマートで 5 年間働き続けましたと言いたいのですが、90 日の少しあとクリスマスパーティーに彼女と 2 人で出かけたとき、彼女にチョコカイクを出した男性と喧嘩になりウォールマートから解雇されてしまいました。結局彼の仕事は 3 ヶ月半位しか続きませんでした。その時彼は「自分は仕事出来る」という自信を持ちました。その結果、彼は 2 年後に自分で映画館での切符切りの仕事を見つける事が出来ました。

ある意味仕事を見つけて始めることは容易いかも知れませんが、一番難しいのはどの様にしたら続けていけるのか、どの様なサポートをしたら良いのか、ということです。

仕事をしている皆が 9 時から 5 時のフルタイムで仕事をしている訳ではありません。真夜中から朝 7 時迄の仕事の人もあります。その人たちには、何かあったらサポートをしますから電話をしてくださいと伝えています。

朝 Joeさんは私がアセスメントの話もしますと言っていました。しかし一番大切なこと、アセスメントで中心になることは、本人が仕事に就くことを願っているか否かです。本人が願っていれば、PSC は何としても仕事に就けるように努力します。そして成功させます。

仕事に就いたときにどの様なサポートをしているか？ということですが、それが交通機関であれ衣服であれライフスタイルであれ、色々な支援をします。その中で障壁となることもあります。その人に対してモーニングコールを誰がするのでしょうか？ヴィレッジでは、その人に関係する医師・PSC など皆が協力して行動しています。私自身が痛感したことですが、就労を開始した人が服薬をしていた場合は、いつ薬を飲んでるかをチェックしてください。初めて仕事に就いた日に、仕事の監督者から電話がかかってきて「チームミーティングの最中に居眠りをした」と伝えられました。その時私は機転を利かせ「目をつぶっていただけで話は全部聞いていたはずですよ」と答えました。そんなことは無い「彼はイビキをかいて寝ていた」と言われました。そこで私の言い訳は打ち消されました。

就労に関しては、その人となるべく深い関係を持つことですが、近づき過ぎないことも重要です。

皆様から何か質問は有りますか？

(参加者) 日本では障がい者雇用法という法律が有り、一定規模以上の会社では 2% 以上の雇用が決められていますが、アメリカではありますか？ また我々はハローワークを通したり職場開拓をしたりして就労先を見つけていますが、こちらではどの様にしていますか？

(ボブ) アメリカにその様な法律は有りません。仕事の探し方ですが、こちらでも日本と同じことをしています。それに加えてインターネットでも就労先を探します。でも実際に足で歩いて探すことが多くあります。お話ししていませんでしたが、ジョブデベロッパーが仕事を探す場合、一般的には精神障がい者が仕事を探しているということを相手に伝えることは有りません。一般の求職者と同じ立場で就労先を探します。アメリカでは障がい者雇用を法律的に決めたものは有りませんが、障がい者雇用を積極的に進めている企業もあります。

最後に統合失調症の女性が書いた詩を紹介したいと思います。この詩は彼女の経験を良く表していると思いますので共有したいと思います。

私には夢が有る
今日私は起きて
しかしもう仕事には行きたくない
だけど私には夢が有る
私の中の声言っている
「今日 1 日位休んでも良いよ」
「ずっと働いてきたのだから」
「仕事だってあまり良い仕事ではないし」
すると別の声私の中で
「仕事をさぼっちゃだめだ」
と言っている
天井を見ながら
私の頭の中でボクサーが戦っている様に
2 つの声が戦っている
だけど私には夢が有る
昨日の仕事で私の体が痛んでいる
ボスが怒鳴りつけるので私も頭が痛い
私は夢から遠ざかっている
私の精神も傷んでいる
だけど私には夢が有る
テレビ画面のボクサーのように 2 つの声が戦っている
「仕事に行け、行け」
「いやダメだ、ダメだ」
「行け」
「ダメだ」
「行け」
「ダメだ」
誰が勝つのだろう

どの声が勝つのだろう
だけど私には夢が有る
私は大声で自分の夢を言ってみる
そしてその声が聞こえるように
この仕事からより良い仕事に
そして更に良い仕事に
より良い生活に
私には次の仕事が見えてくる
そしてその後にも良い仕事が
私は回復の途にあるのだ
だから仕事を休んでも良いといった声は聞きなさい
私はこの戦いに勝つのであるから
私の体はゆっくりとベッドから起き上がる
そして毎朝のボクシングの戦いは終わった
私は勝ったのだ
家に居るように言った声に勝ったのだ
私には夢が有るから
私は負けることに耳を貸さない
元に戻ることに耳を貸さない
希望の階段に私を置いてくれている
より良い日のために
だけど「家に居ろ」という声はまた帰ってくる
また体も傷む
そしてまたボスの怒鳴る声も聞こえてくる
そしてまた別の戦いが始まる
次の戦いにも勝つ強さを得られるようにと願っている
2つの声との戦い
私はその言葉を書き綴っている
私の中で戦いが続いて
私が見たり言ったり夢を信じたりすること
言葉が段々とズレていく
しかし私の夢は段々明るくなって強くなっていく
戦いはまた帰ってくる
だけど今日私は仕事に行くのだ
何故なら私には夢が有る

有り難うございました。

Vocational Assessment

Name _____ Team/PSC _____

Address _____ Phone _____

Short-Term Goal _____

Long-Term Goal _____

DR Counselor _____ Plan Period _____

Interests(Type(s) of Job)

1) _____ 2) _____ 3) _____

Desired Wage _____ Hours Per Week _____ Days/Time of Week Available _____
 _____ PT/FT _____

Cultural Issues _____

Work/Volunteer/Military/Institutional Experience

	Employer	Position	Duties	Reason for Leaving	Length of Emp.
1.					
2.					
3.					
4.					
5.					

Topic	Need/Barriers	Strength
Substance/Alcohol Abuse Issues		
(Adaptive Skills/Good Worker Traits)		
-Ability to get to places on time		
-Ability to get along w/others		
-Attendance Record		
-Ability to accept supervision		
-Ability to get things done on time		
-Ability to communicate in writing		
-Ability to communicate verbally		
-Ability to use hands		
-Ability to lift or carry		
-Ability to deal with stress		
Work Endurance		
Initiative at Work		
Other Barriers and Strengths		

Vocational Assessment 11/30/2011



—編集後記— 今回は“就労”について纏めてくださいました。仁木さんありがとうございました。

私がヴィレッジの研修セミナーに参加させていただいてからだいぶ時が経ちました。当時、聞くこと、観るものの全てに驚き、感激したことを鮮明に記憶しています。

振り返ってみればヴィレッジでの体験が現在の活動に繋がっていると感じています。ひとりでも多くの皆さんにこのような体験をしていただきたいと、研修セミナーの再開が待たれます。(m.shiida)

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会